

研修報告書

焼津市議会議員 様

議員氏名 秋山博子

令和 7 年 1 月 19 日 下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	全国フェミニスト議員連名議員連盟「ジェンダー平等社会は私たちが創る！」 (オンライン受講)
研修の目的	ジェンダー平等は議員にとって重要なテーマである。公共の再生・地域主権・民主主義をテーマに政策に取り組んでいる女性区長や女性市長たち、女性議員を大幅に増やした議会の活動などに学びたい。
所 感 ① 基調講演「区民と共に変える杉並の政治」(岸本聡子氏／杉並区長) 公共財（公共サービス）をどのように作っていくかが地方自治体の大きな仕事だと考え、市場の原理ではなく市民の論理で政策を進めることこそ、結果、効率的なのではないかという。地方自治とは民主主義を再起動させる最重要のカギであり、 自治とは暮らしの未来を自分たちの手で考える行為 。それを区民と一緒に進めていくといい、就任以来、対話することを何よりも重視して、丁寧にしかし野心的に、信念をもって一步一步、公約をカタチにしている。例えば、ジェンダー平等に関する審議会の設置、公契約条例について労働報酬下限額の引き上げ、生理休暇・災害休暇・ボランティア休暇、会計年度任用職員の処遇改善、職員の定数管理の方針改定、ケアする人をケアする包括的支援体制等の整備、区民参加型予算、などが、「対話の区政」から生まれた。それはイコール「住民自治」の実現なのである。 ② トークセッション「地方の現場で奮闘する女性たち」(三井マリ子氏／元東京都議、佐藤有美氏／長久手市長、小池友妃子氏／碧南市長) 三井氏からは女性議員 1/2 は民主主義の基本であること、首長からは審議会の女性比率 40%オーバーを実現したことや、既存の全事業を総点検したことなどの報告をいただく。 ③ 報告「増やしたゾ！女性議員」(三好市議、日進市議) 選挙講座や各種研修会、供託金の貸付などで女性立候補者を支援したと報告いただく。 ④ 報告「厳しい議会、一人でも変えられる！」(各務原市議、常滑市議、愛西市議) 議会倫理条例が政争に使われる恐れや悪用が始まっているのではないかという懸念、マイノリティー（少数派）とは数の問題ではなく「処遇」の問題であると指摘された。 ⑤ 講座「ジェンダーの視点で考える公務労働～会計年度任用職員制度の課題と解決へ」(渋谷典子氏／NPO 法人参画プラネット代表理事・はむねっと幹事) 自治体独自に報酬をあげるなどの動きが出始めているが、このままでは役所機能が低下していく。会計年度職員の待遇改善は正規にもつながり市民を守る市役所になる。	
今後の参考となる事項 ●区民参加型予算 ●ジェンダー推進に関する審議会 ●職員の定数管理数に会計年度任用職員数もカウントする	

ウィンターセミナー2025 in 愛知「ジェンダー平等社会は私たちが創る！」

イベント

2024年11月5日

日時：2025年1月19日（日）

会場：ウインクあいち13階 特別会議室1301&オンライン

基調講演：「区民とともに変える杉並の政治」杉並区長 岸本聡子さん（オンライン有）

分科会①「増やしたゾ！女性議員」

三井マリ子さん×佐藤有美さん×小池友妃子さんトークセッション

分科会②「厳しい議会、一人でも変えられる！」

岐阜県各務原市、愛知県愛西市、常滑市各市議会議員からの報告

分科会③「ジェンダーの視点で考える公務労働」

渋谷典子さん講演、愛知県みよし市の取り組み報告と当事者の声

参加費：

議員→会場参加 5,000円 オンライン参加4,000円

一般→会場参加・オンライン参加ともに 2,000円

